

様式1

整理番号 1

治山事業費用対効果集計表

事業名：森林水環境総合整備
 施工箇所：三室

都道府県名：兵庫

(単位：千円)

大区分	中区分		評価額 B (千円)	備考
水源かん養便益	洪水防止便益	a-1	170,068	
		a-2	15,681	
	流域貯水便益	b-1	72,941	
		b-2	6,725	
	水質浄化便益	c-1	97,548	
		c-2	8,994	
国土保全便益	土砂流出防止便益	d-1	12,056	12,056 + 1,112 + 37 + 7 = 13,212 > 0 → 適用する
		d-2	1,112	
	土砂崩壊防止便益	e-1	37	
		e-2	7	
環境保全便益	炭素固定便益	f-1	0	
		f-2	0	
	気候緩和便益	h	0	
	騒音軽減便益	i	0	
	飛砂軽減便益	j	0	
	風害軽減便益	k	0	
	大気浄化便益	l		
	霧害軽減便益	m	0	
	火災防備便益	n	0	
	漁場保全便益	o		
	生物多様性の保全便益	p		
	保健休養便益	q	0	
	災害防止便益	山地災害防止便益	r-1	0
なだれ災害防止便		r-2	0	
潮害軽減便益		r-3	0	
海岸侵食防止便益		r-4	0	
便益合計 (B)			385,169	
事業費 (C) (様式2にて算出)			152,061	千円
費用対効果分析	$B \div C = \frac{385,169}{152,061} = 2.53$			

様式1

整理番号 2

治山事業費用対効果集計表

事業名：水源流域広域保全
 施工箇所：坂泰山

都道府県名：和歌山

(単位：千円)

大区分	中区分		評価額 B (千円)	備考
水源かん養便益	洪水防止便益	a-1	7,141,270	
		a-2	465,827	
	流域貯水便益	b-1	1,055,370	
		b-2	68,842	
	水質浄化便益	c-1	1,411,410	
		c-2	92,067	
国土保全便益	土砂流出防止便益	d-1	129,019	129,019 + 8,416 + 2,562 + 375 = 140,372 > 0 → 適用する
		d-2	8,416	
	土砂崩壊防止便益	e-1	2,562	
		e-2	375	
環境保全便益	炭素固定便益	f-1	0	
		f-2	0	
	気候緩和便益	h	0	
	騒音軽減便益	i	0	
	飛砂軽減便益	j	0	
	風害軽減便益	k	0	
	大気浄化便益	l		
	霧害軽減便益	m	0	
	火災防備便益	n	0	
	漁場保全便益	o		
	生物多様性の保全便益	p		
	保健休養便益	q	0	
災害防止便益	山地災害防止便益	r-1	0	適用しない
	なだれ災害防止便	r-2	0	
	潮害軽減便益	r-3	0	
	海岸侵食防止便益	r-4	0	
便益合計 (B)			10,375,158	
事業費 (C) (様式2にて算出)			2,861,639	千円
費用対効果分析	$B \div C = \frac{10,375,158}{2,861,639} = 3.63$			

様式1

整理番号 3

治山事業費用対効果集計表

事業名：保安林整備促進
 施工箇所：艾山

都道府県名：島根

(単位：千円)

大区分	中区分		評価額 B (千円)	備考
水源かん養便益	洪水防止便益	a-1	0	
		a-2	219,896	
	流域貯水便益	b-1	0	
		b-2	119,242	
	水質浄化便益	c-1	0	
		c-2	159,470	
国土保全便益	土砂流出防止便益	d-1	0	0 + 18,399 + 0 + 0 = 18,399 > 0 → 適用する
		d-2	18,399	
	土砂崩壊防止便益	e-1	0	
		e-2	0	
環境保全便益	炭素固定便益	f-1	0	
		f-2	0	
	気候緩和便益	h	0	
	騒音軽減便益	i	0	
	飛砂軽減便益	j	0	
	風害軽減便益	k	0	
	大気浄化便益	l		
	霧害軽減便益	m	0	
	火災防備便益	n	0	
	漁場保全便益	o		
	生物多様性の保全便益	p		
	保健休養便益	q	0	
	災害防止便益	山地災害防止便益	r-1	0
なだれ災害防止便		r-2	0	
潮害軽減便益		r-3	0	
海岸侵食防止便益		r-4	0	
便益合計 (B)			517,007	
事業費 (C) (様式2にて算出)			73,928	千円
費用対効果分析	$B \div C = \frac{517,007}{73,928} = 6.99$			